

## ベトナム最大級の建設系展示会「VIETBUILD 2019」 東南アジアでの売上を伸ばすタカラスタンダードが初出展

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、ベトナムでの認知向上と売上拡大を図るため、2019年6月19日（水）から23日（日）にベトナム・ホーチミン市のサイゴンエキシビション&コンベンションセンターで開催されるベトナム最大級の建設系展示会「VIETBUILD2019」に現地ホーチミンの販売店/Nippon Interia Co.,Ltd とのタイアップで初出展しました。



（展示会場の様子）

国土交通省が取りまとめている建築着工統計調査によると、国内の新設住宅着工戸数は1989年には約170万戸だったのに対して、2018年の統計では約95万戸と半減する勢いで減少を続けています。そこで新たな市場として考えられるうちの 하나가海外でしたが、かつて住宅設備機器業界では、各国の気候や生活習慣、文化等の違いや現地に比べて高コストであることなどを理由に、海外での展開は従来から難しいといわれてきました。しかし、海外に比べて圧倒的に優れている日本の商品の人気は近年確固たる地位を築いており、現在では複数のメーカーが積極的に展開を広げています。

当社は国内の競合企業の中では比較的后発として、約4年前に本格的に海外進出をしましたが、順調に売上を伸ばしています。その理由として挙げられるのが「ホーロー」という圧倒的な商品力の強さです。高温多湿な国が多いアジアでは、湿気や熱に耐え、水分や汚れに強いホーローを使った商品は、高い評価を受け注目されています。そして海外で販売されているキッチンのほとんどは木製で、ホーローキッチン販売しているのは当社だけという優位性がある状況です。

ベトナムでは、2016年に初めて現地販売代理店による商品の取り扱いを開始しました。他社にはない当社独自のホーロー製のシステムキッチンの耐久性、清掃性、耐熱性などの長が受け入れられ、売り上げを順調に伸ばしています。

そしてこの度、ベトナムでのさらなる認知度の向上と売り上げの拡大を図るため、「VIETBUILD2019」に現地販売店/Nippon Interia Co.,Ltd とのタイアップで初出展する運びとなりました。当社製品がASEANの展示会に出展するのはこれが初めてとなります。

同展示会はハノイやダナンでも開催されている大型の展示会ですが、中でもホーチミンで開催された今回の展示会は、ベトナム最大級の建設系展示会です。当日は、ホーロー製のシステムキッチンやシステムバス、またホーロー壁装材であるエマウォールなどの展示を通じて、製品を実際に見て触れていただくことで、ホーローの良さを実感していただきました。

タカラスタンダードはこれからも今後もベトナムをはじめとした東南アジアを中心に売り上げ拡大を図り、世界に「高品位ホーロー」が叶える快適な暮らしをお届けしていきます。

<展示会概要> 名称：「VIETBUILD2019」 会期：2019年6月19日（水）～23日（日）  
会場：サイゴンエキシビション&コンベンションセンター

### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。  
[設立：1912年5月30日（創業107年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名]